

～ 山田賞 ～



石井 龍宏

略 歴

昭和43年11月10日生
平成9年3月 高知医科大学医学部卒業
平成9年6月 岡山大学医学部附属病院第一外科 医員（研修医）
平成9年10月 岡山大学医学部外科学第一講座 研究生
平成9年11月 松山市民病院に勤務
平成13年4月 岡山大学医学部消化器・腫瘍外科学講座 研究生
平成17年10月 西条市立周桑病院に勤務
現在に至る

研究論文内容要旨

食道扁平上皮癌の癌化の仕組みは、食道上皮の前癌病変と p53 遺伝子変異の集積に関連することが明らかになっているが、癌化過程（dysplasia-carcinoma シーケンス）の分子機構は未だ不明である。一方、近年遺伝子の構造変化が無くてもその修飾により発現が調節される（プロモーターメチル化）機構が注目されている。

本研究では、14 種の癌関連遺伝子の DNA プロモーターメチル化経路と、p53 変異経路に着目し、42 例の健常人食道粘膜（42 例）と、56 例の食道癌症例の正常粘膜、前癌病変、癌病変における各段階の変化を詳細に解析した。

この結果、食道癌背景粘膜においてメチル化異常が段階的に増加していき、メチル化異常の蓄積した前癌病変より p53 変異が出現し癌化に至る過程、すなわち dysplasia-carcinoma シーケンスの分子機構をはじめて明らかにした。